

SYLLABUS

シ ラ バ ス

令和8年度後期

歯科衛生士科 3年次

医療法人社団 慈恵会

神戸総合医療専門学校

歯科衛生士科 教育課程（令和8年度後期）

3年次

科目名	単位数	時間数	年次	時期	科目名	単位数	時間数	年次	時期
生物学	2	30	1	前期	歯科診療補助Ⅳ	1	30	2	後期
化学	2	30	1	前期	歯科診療補助Ⅴ	1	15	3	前期
心理学	1	15	1	前期	歯科材料学	1	15	1	後期
倫理学	1	15	1	前期	医療安全	1	15	2	前期
歯科英語	1	15	1	後期	臨床検査	1	15	2	前期
保健体育	2	30	1	前期	臨床指導教育Ⅰ	1	15	1	前期
キャリアデザインⅠ	1	15	1	前期	臨床指導教育Ⅱ	1	15	2	後期
キャリアデザインⅡ	1	15	3	後期	臨床指導教育Ⅲ	1	15	3	前期
情報処理	2	30	1	前期	臨床実習Ⅰ	1	45	1	後期
解剖・生理学Ⅰ	2	30	1	前期	臨床実習Ⅱ	9	405	2	後期
解剖・生理学Ⅱ	2	30	1	前期	臨床実習Ⅲ	10	450	3	前期
口腔解剖学	2	30	1	前期	摂食嚥下	2	30	2	前期
口腔生理学	2	30	1	後期	チーム医療	2	30	2	前期
生化学・口腔生化学	2	30	1	後期	関連医学・医学概論	2	30	2	前期
微生物学・口腔微生物学	2	30	1	前期	看護学	1	15	2	前期
病理学・口腔病理学	2	30	1	後期	医療事務・受付	1	15	3	後期
薬理学・歯科薬理学	2	30	1	後期	総合歯科演習	1	30	3	後期
衛生・公衆衛生	2	30	1	前期	歯科衛生学特論Ⅰ	2	60	3	後期
口腔衛生学	2	30	1	前期	歯科衛生学特論Ⅱ	1	30	3	後期
情報統計学	2	30	1	後期					
衛生行政	2	30	2	前期	歯科衛生学特論Ⅲ(臨時開講科目)	1	30	3	前期
歯科衛生士概論	1	15	1	前期	歯科衛生学特論Ⅳ(臨時開講科目)	1	30	3	後期
歯科臨床概論	1	15	1	前期	歯科衛生学特論Ⅴ(臨時開講科目)	1	30	3	後期
保存修復学	1	15	1	後期	歯科衛生学特論Ⅵ(臨時開講科目)	1	30	3	後期
歯内療法学	1	15	1	後期					
歯周病学	1	15	1	後期					
歯科補綴学	2	30	1	後期					
小児歯科学	2	30	1	後期					
障害者歯科学	1	15	1	後期					
歯科矯正学	2	30	1	後期					
口腔外科学	2	30	2	前期					
歯科麻酔学	1	15	2	前期					
高齢者歯科学	2	30	2	前期					
歯科放射線学	1	15	2	前期					
先端医療	2	30	2	前期					
歯周病予防処置Ⅰ	2	45	1	前期					
歯周病予防処置Ⅱ	2	45	1	後期					
歯周病予防処置Ⅲ	2	45	2	前期					
歯周病予防処置Ⅳ	1	30	2	後期					
う蝕予防処置	2	45	2	前期					
歯科保健指導Ⅰ	1	30	1	前期					
歯科保健指導Ⅱ	1	30	1	後期					
歯科保健指導Ⅲ	1	30	2	前期					
歯科保健指導Ⅳ	2	45	2	後期					
歯科保健指導Ⅴ	1	30	3	前期					
歯科保健指導Ⅵ	1	30	3	後期					
栄養指導	2	30	2	前期					
歯科診療補助Ⅰ	2	45	1	前期					
歯科診療補助Ⅱ	2	45	1	後期					
歯科診療補助Ⅲ	2	45	2	前期					

科目名		授業形態	担当教員名	
キャリアデザインⅡ		講義	野村 真紀	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間 （ 1 単位）		8 回	3 年次	後期
授業の目的・概要				
社会人であり組織の一員として失礼のない立ち居振る舞いや言動で自信を持って仕事に取り組めるよう、社会人として必要な基本的なビジネスマナーを1年次の復習を兼ねて改めて学びを深めます。 主体的にお仕事に取り組む姿勢と意識、周りの人たちに対する心配り・ホスピタリティについて考え、自らのキャリアデザインを色々な方法で表現する時間をクラス全体で作ります。				
授業の到達目標				
1. 基本的なビジネスマナーを習得する。 2. 医療現場での適切な接遇ができる。 3. 自らのキャリアデザインを、自ら考えた表現方法で表現する。				
授業計画				
回	内容			
1	<ガイダンス>この授業の目的と進め方 定期試験・評価について・自己紹介			
2	<第一印象の重要性>相手に安心と信頼を感じてもらえる表情や所作・第一印象の重要性について			
3	<マナーとモラル>公共の場や職場で求められるマナーとモラルとは？（グループディスカッション）			
4	<言葉遣いとコミュニケーション>敬語の使い方、失礼のない表現とコミュニケーションの取り方			
5	<感じの良い話し方・聴き方>積極的傾聴の方法、気配りや感じの良さを形にする方法			
6	<社会に求められる人財とは？>社会や信頼され、求められる人財とはどんな人物像かを考える			
7	<自分の将来像を考える>自分自身の将来の構想とビジョンを作成し、これからの計画を立てる			
8	<キャリアデザインのプレゼン>自ら考えた表現方法で自分のキャリアデザインを発表する			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート・課題	30%	課題に対してのレポート作成。内容・取り組み方などから総合的に評価する。（評価基準は別途示す）		
小テスト				
その他	70%	授業態度・積極性・プレゼンテーションなどから評価をする。（評価基準は別途示す）		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
ケーススタディで学ぶ 患者接遇パーフェクト・レッスン 2019年新版	小佐野美智子		医学通信社	
自由記載				
備考				
正しい美しい日本語を使い、積極的に授業に参加・発言することを期待しています。				

科目名		授業形態	担当教員名	
歯科保健指導VI		講義・演習	中谷 綾子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	3 年次	後期
授業の目的・概要				
国家試験対策として1～3年次で学んだ歯科保健指導の復習講義を実施し、知識の再確認・強化する。 国家試験対策として1～2年次で学んだう蝕予防処置の復習講義を実施し、知識の再確認・強化する。				
授業の到達目標				
国家試験の合格するための歯科衛生学の知識を獲得する。				
授業計画				
回	内容			
1	PI GB Count			
2	国家試験対策1（歯科保健指導1）			
3	国家試験対策2（歯科保健指導2）			
4	国家試験対策3（歯科保健指導3）			
5	国家試験対策4（歯科保健指導4）			
6	国家試験対策5（歯科保健指導5）			
7	国家試験対策6（歯科保健指導6）			
8	国家試験対策7（歯科保健指導7）			
9	国家試験対策8（歯科保健指導8）			
10	国家試験対策9（歯科保健指導9）			
11	国家試験対策10（歯科保健指導10）			
12	国家試験対策11（う蝕予防処置1）			
13	国家試験対策12（う蝕予防処置2）			
14	国家試験対策13（う蝕予防処置3）			
15	国家試験対策14（う蝕予防処置4）			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート・課題				
小テスト				
その他	100%	授業への取り組みで評価する。（評価基準は別途示す）		
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論		全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版株式会社	
歯科衛生士国家試験問題集		日本医歯薬研修協会	医歯薬出版株式会社	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
なし				
自由記載				
備考				

令和8年度シラバス

歯科衛生士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
医療事務・受付		講義	赤松 佑紀	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間 （ 1 単位）		8 回	3 年次	後期
授業の目的・概要				
衛生行政の仕組みや保健医療、福祉関係の法規及び、社会福祉や社開保険制度について、理解を深める。				
授業の到達目標				
1. 医療保険制度と医療保険を理解する。 2. 公費負担制度と助成医療について理解する。 3. 診療報酬請求事務と受付事務について理解する。				
授業計画				
回	内容			
1	ガイダンス 授業の目的の説明			
2	医療保険制度 医療保険制度を知る			
3	医療保険制度 公費負担制度と助成医療について知る			
4	医療保険制度 その他の社会保険を知る			
5	診療報酬事務 診療報酬請求事務を知る			
6	受付事務 受付事務を知る			
7	受付事務 受付事務を体験する			
8	医療事務、受付、総括 まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	80%	医療事務・受付、医療保険制度について筆記試験で評価する。		
レポート・課題				
小テスト				
その他	20%	授業態度を評価する。（評価基準は別途示す）		
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み2 保健・医療・福祉の制度		全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版株式会社	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
なし				
自由記載				
備考				

令和8年度シラバス

歯科衛生士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
総合歯科演習		演習	藤澤 仁美・三村 明美 今川 由香・中谷 綾子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	3 年次	後期
授業の目的・概要				
3年間で学んだことを整理し、総まとめの演習を行う。				
授業の到達目標				
歯科衛生士として必要な知識や、基礎的な技術を身につけ臨床に応用することができる。				
授業計画				
回	内容			
1	情報収集 （高齢者施設実習）			
2	情報処理 資料作成 1			
3	情報処理 資料作成 2			情報処理室
4	情報処理 資料作成 3			情報処理室
5	情報処理 資料作成 4			情報処理室
6	情報処理 資料作成 5			情報処理室
7	発表 1			
8	発表 2			
9	発表 3			
10	口腔内規格写真9枚法	演習	基礎実習室	臨床実習室
11	口腔内規格写真9枚法	演習		臨床実習室
12	口腔内規格写真9枚法	演習		臨床実習室
13	口腔内規格写真9枚法	演習		臨床実習室
14	口腔内規格写真9枚法	資料作成		情報処理室
15	口腔内規格写真9枚法	資料作成		情報処理室
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート・課題	100%	評価基準は別途示す		
小テスト				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載	必要に応じてプリントを配布する			
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
備考				

科目名		授業形態		担当教員名	
歯科衛生学特論Ⅰ		講義		小林 正樹・重岡 学・西山 憲行・大石 美恵・小谷 順一郎・佐々木 有美・油谷 征彦・大森 昭輝・江原 美奈・児玉 秀樹・三木 貴子・三村 明美	
時間数（単位数）		授業回数		年次	開講時期
60 時間 （ 2 単位）		30 回		3 年次	後期
授業の目的・概要					
国家試験に合格するために各科目の特別講義を通して知識の再確認を行う。					
授業の到達目標					
国家試験に合格するための歯科衛生学の知識を獲得する。					
授業計画					
回	内容				
1	特別講義 1（口腔解剖学 1）	（小林）	16	特別講義16（口腔外科学 1）	（大森）
2	特別講義 2（口腔解剖学 2）	（小林）	17	特別講義17（口腔外科学 2）	（大森）
3	特別講義 3（病理学・口腔病理学 1）	（重岡）	18	特別講義18（口腔外科学 3）	（大森）
4	特別講義 4（病理学・口腔病理学 2）	（重岡）	19	特別講義19（衛生行政 1）	（江原）
5	特別講義 5（口腔衛生学1）	（西山）	20	特別講義20（衛生行政2）	（江原）
6	特別講義 6（口腔衛生学 2）	（西山）	21	特別講義21（高齢者歯科学 1）	（児玉）
7	特別講義 7（薬理学・歯科薬理学 1）	（大石）	22	特別講義22（高齢者歯科学 2）	（児玉）
8	特別講義 8（薬理学・歯科薬理学 2）	（大石）	23	特別講義23（障害者歯科学 1）	（三木）
9	特別講義 9（歯科麻酔学 1）	（小谷）	24	特別講義24（障害者歯科学 2）	（三木）
10	特別講義10（歯科麻酔学 2）	（小谷）	25	特別講義25（歯科補綴学 1）	（三村）
11	特別講義11（歯科麻酔学 3）	（小谷）	26	特別講義26（歯科補綴学 2）	（三村）
12	特別講義12（小児歯科学 1）	（佐々木）	27	特別講義27（歯科補綴学 3）	（三村）
13	特別講義13（小児歯科学 2）	（佐々木）	28	特別講義28（歯科補綴学 4）	（三村）
14	特別講義14（歯科矯正学 1）	（油谷）	29	特別講義29（歯周外科 1）	（三村）
15	特別講義15（歯科矯正学 2）	（油谷）	30	特別講義30（歯周外科 2）	（三村）
成績の評価方法と基準					
種別	割合	評価基準・その他備考			
定期試験					
レポート・課題					
小テスト					
その他	100%	授業態度、授業への取り組み。（評価基準は別途示す）			
自由記載					
教科書					
書名			著者・編集者名		出版社名
なし					
自由記載					
参考文献					
書名			著者・編集者名		出版社名
なし					
自由記載					
備考					

科目名		授業形態	担当教員名	
歯科衛生学特論Ⅱ		講義	三村 明美	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	3 年次	後期
授業の目的・概要				
国家試験に合格するために各科目の特別講義を通して知識の再確認を行う。				
授業の到達目標				
国家試験に合格するための歯科衛生学の知識を獲得する。				
授業計画				
回	内容			
1	国家試験対策1 歯科衛生士概論1			
2	国家試験対策2 歯科衛生士概論 2			
3	国家試験対策3 歯科診療補助 総論			
4	国家試験対策4 歯科診療補助 滅菌消毒 1			
5	国家試験対策5 歯科診療補助 滅菌消毒 2			
6	国家試験対策6 歯科診療補助 印象材 1			
7	国家試験対策7 歯科診療補助 印象材 2			
8	国家試験対策8 歯科診療補助 直接修復 1			
9	国家試験対策9 歯科診療補助 直接修復 2			
10	国家試験対策10 歯科診療補助 歯内療法 1			
11	国家試験対策11 歯科診療補助 歯内療法 2			
12	国家試験対策12 歯科診療補助 矯正器具 1			
13	国家試験対策13 歯科診療補助 矯正器具 2			
14	国家試験対策14 歯科診療補助 小児歯科診療			
15	国家試験対策15 歯科診療補助 口腔外科			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%			
レポート・課題				
小テスト				
その他				
自由記載	定期試験は2回行う			
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論		全国歯科衛生士教育協議会	医歯薬出版株式会社	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
なし				
自由記載				
備考				
次年度の前期に再試験は実施しない				

令和8年度シラバス

歯科衛生士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
歯科衛生学特論Ⅳ（臨時開講科目）		講義	坂本 由紀子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（ 1 単位）		15 回	3 年次	後期
授業の目的・概要				
国家試験合格に必要な知識を、科目別特別講義により体系的に再確認・強化する。				
授業の到達目標				
歯科衛生学の知識を国家試験の出題傾向に即して体系化し、合格に必要な思考力を獲得する。				
授業計画				
回	内容			
1	国家試験対策 1（微生物）			
2	国家試験対策 2（歯科保健指導 1）			
3	国家試験対策 3（歯科保健指導 2）			
4	国家試験対策 4（歯科保健指導 3）			
5	国家試験対策 5（歯科保健指導 4）			
6	国家試験対策 6（歯科保健指導 5）			
7	国家試験対策 7（衛生学1）			
8	国家試験対策 8（衛生学2）			
9	国家試験対策 9（衛生学3）			
10	国家試験対策10（衛生学4）			
11	国家試験対策11（衛生学5）			
12	国家試験対策12（衛生学6）			
13	国家試験対策13（情報統計1）			
14	国家試験対策14（情報統計2）			
15	国家試験対策15（情報統計3）			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート・課題				
小テスト				
その他	100%	授業態度を評価する。（評価基準は別途示す）		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
備考				

令和8年度シラバス

歯科衛生士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
歯科衛生学特論Ⅴ（臨時開講科目）		講義	藤澤 仁美	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（ 1 単位）		15 回	3 年次	後期
授業の目的・概要				
国家試験に合格するために各科目の特別講義を通して知識の再確認を行う。				
授業の到達目標				
国家試験に合格するための歯科衛生学の知識を獲得する。				
授業計画				
回	内容			
1	国家試験対策(歯周病予防処置1)			
2	国家試験対策(歯周病予防処置2)			
3	国家試験対策(歯周病予防処置3)			
4	国家試験対策(歯周病予防処置4)			
5	国家試験対策(歯周病予防処置5)			
6	国家試験対策(歯周病予防処置6)			
7	国家試験対策(歯周病予防処置7)			
8	国家試験対策（歯周病学1）			
9	国家試験対策（歯周病学2）			
10	国家試験対策（歯周病学3）			
11	国家試験対策（歯周病学4）			
12	国家試験対策（歯周病学5）			
13	国家試験対策（歯周病学6）			
14	国家試験対策（歯周病学7）			
15	国家試験対策（歯周病学8）			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート・課題				
小テスト				
その他	100%	授業への取り組みで評価する。（評価基準は別途示す）		
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版		高阪 利美ほか	医歯薬出版株式会社	
歯周病学 第2版			医歯薬出版株式会社	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
なし				
自由記載				
備考				
歯科予防処置、歯周病学ではそれぞれ1～3年生で使用した必要な教本、資料を持参してください。				

令和8年度シラバス

歯科衛生士科

神戸総合医療専門学校

科目名		授業形態	担当教員名	
歯科衛生学特論Ⅵ（臨時開講科目）		講義	今川 由香	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	3 年次	後期
授業の目的・概要				
国家試験に合格するために各科目の特別講義を通して知識の再確認を行う。				
授業の到達目標				
国家試験に合格するための歯科衛生学の知識を獲得する。				
授業計画				
回	内容			
1	国家試験対策1（摂食嚥下1）			
2	国家試験対策2（摂食嚥下2）			
3	国家試験対策3（摂食嚥下3）			
4	国家試験対策4（摂食嚥下4）			
5	国家試験対策5（インプラント1）			
6	国家試験対策6（インプラント2）			
7	国家試験対策7（放射線学1）			
8	国家試験対策8（放射線学2）			
9	国家試験対策9（臨床歯科医学1）			
10	国家試験対策10（臨床歯科医学2）			
11	国家試験対策11（臨床歯科医学3）			
12	国家試験対策12（臨床歯科医学4）			
13	国家試験対策13（臨床歯科医学5）			
14	国家試験対策14（臨床歯科医学6）			
15	国家試験対策15（臨床歯科医学7）			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート・課題				
小テスト				
その他	100%	授業態度を評価する。（評価基準は別途示す）		
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
備考				